

# 全国スモンの会 後援会

## 入会のご案内

全国スモンの会 後援会

会長 橋本 健一

Tel:042-345-2811 FAX:042-345-2815

平素は社会福祉法人 全国スモンの会の活動にご理解、ご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

スモンは、当時「原因不明」とされ、伝染病・奇病などとも言われ、スモン患者は社会から阻害され、いわれのない差別を受けました。初代会長の相良丰光(さがら よしみつ、1927~2008)は、患者らの力を合わせ、1969年(昭和44年)に全国スモンの会を結成しました。1972年(昭和47年)には、整腸薬「キノホルム」が原因であることが公に認められ、以後「スモン訴訟」は事実上患者の勝訴となりました。

1982年(昭和57年)には、神経難病などを対象とする全国初の障害者施設「曙光園」を設立。曙光園は現在も、障害者総合支援法に基づく障害者支援施設として運営を続けております。2017(平成29)年4月には、障害者共同生活援助事業所「グループホームアゼリア」を事業開始し、重度心身障害者の方や、将来地域での生活を希望される身体障害者の方に、ご利用をいただいております。

そして、全国スモンの会結成当初から刊行を続けております法人の定期刊行物「曙光」は、現在通巻460号(2020年4月1日発行)を数えております。

薬害・公害問題は「スモン」以降も残念ながら姿を変え形を変え日本・世界の各地で繰り返し発生し続けています。日本と世界の歴史と現状を見渡しても、今なお、社会・自然環境や人間の健康について憂慮せざるを得ない状況が続いています。全国スモンの会は、「曙光園」の運営実践を基軸としながら、薬害・公害の再発防止を訴え、また、障害者福祉のあるべき姿を模索し日夜奮闘を続けています。

このたび、「社会福祉法人 全国スモンの会」の活動にご賛同される皆様に広くお声をかけさせていただくため、「全国スモンの会 後援会」を設立させていただいております。ご加入された皆様には、法人の定期刊行物「曙光」(季刊)をお送りいたします。また、大変恐縮ながら、年会費(法人5,000円、個人3,000円)のご負担をくださいますよう、お願い申し上げます。

皆様のご加入をお待ち申し上げます。